



日時	12月8日(木)～9日(金)
場所	宮城県本吉郡南三陸町
参加人数	25名(男性17名、女性6名、事務局2名)

● 活動内容



初日は、南三陸町災害ボランティアセンターに隣接する南三陸消防署で、ジャガイモの仕分け作業を行いました。

このジャガイモは、茨城県で車ディーラーを営んでいる方から無償提供されたもので、町内の仮設住宅や、大きな被害にあわれた世帯向けに仕分けしました。

2日目は、戸倉地区の津の宮漁港にて、漁師の方々とともに養殖用棚の錘作りを行いました。



ずた袋に小石を詰め、ビニールワイヤーで縛り、これを5袋まとめて完成となります。今回の作業で数百袋の養殖用錘を作りましたが、必要となる錘は桁外れに多いことから、それだけの数を作るためには、まだまだボランティアの手が足りていない現状を知り、今後も活動を継続していく必要性を再認識しました。

作業中に雪が降っていましたが、ボランティアセンターによれば、この日は比較的穏やかな気候だったそうです。しかし、私たちにはとても寒く感じられ、冬季のボランティア活動時の防寒対策の必要性を感じました。また、この寒さの中、復興に向けて努力を続けている被災地の方々に、今後も協力を続けていきたいという思いがより一層強くなりました。